

殺菌剤

ベルクート[®]水和剤

イミノクタジンアルベシル酸塩…………… 40.0%

種類名／イミノクタジンアルベシル酸塩水和剤
 農林水産省登録／第18821号(日本曹達登録)
 毒性／普通物^{*}
 有効年限／5年
 包装／100g×100、500g×20

特 長

- 幅広い殺菌スペクトラムを有し、多くの病害に対して優れた予防効果を発揮します。
- 作物に対する安全性が高く、登録作物が多いため使いやすい薬剤です。
- 細胞膜に作用し、膜機能や脂質生合成を阻害します。また、他剤と作用点が異なるため各種の薬剤耐性菌に対しても高い効果があります。

適用病害と使用法

使用にあたっては必ずラベルを読んで下さい。

| 作物名 | 適用病害名 | 希釈倍数 | 10a当り 使用液量 | 使用時期 | 総使用回数 [*] | 使用方法 |
|------------------|--|----------------|---------------|--------------|--|------|
| りんご | 黒星病 斑点落葉病 | 1000～ 2000倍 | 200～700ℓ | 収穫前日 まで | 本剤 6回 〔但し、開花期以降 散布は3回〕 | 散布 |
| | 輪紋病 褐斑病 すず点病 すず斑病 黒点病 うどんこ病 | 1000～ 1500倍 | | | イミノクタジン剤 8回 〔液剤及び水和剤は 合計6回(開花期 以降は3回)、塗布 剤は2回〕 | |
| | モニリア病 黄腐病 | 1000倍 | | 収穫14日前 まで | 本剤 5回 イミノクタジン剤 5回 〔塗布剤は2回、 液剤は1回〕 | |
| | 黒斑病 黒星病 輪紋病 うどんこ病 | 1000～ 1500倍 | | | 本剤 3回 イミノクタジン剤 3回 〔休眠期は1回〕 | |
| もも | 灰星病 ホモブシス腐 敗病 うどんこ病 すずかび病 果実赤点病 | 1000～ 2000倍 | | 収穫前日 まで | 本剤 3回 イミノクタジン剤 3回 | |
| | 黒星病 | 2000倍 | | 収穫7日前 まで | 本剤 3回 イミノクタジン剤 3回 | |
| とうとう | 灰星病 | 1000倍 | 200～700ℓ | 収穫前日 まで | 本剤 2回 イミノクタジン剤 2回 | 散布 |
| みかん | 灰色かび病 そうか病 貯蔵病害 (緑かび病) (青かび病) | 1000～ 2000倍 | | | 本剤 3回 イミノクタジン剤 3回 | |
| かんきつ (みかんを除く) | 炭そ病 落葉病 うどんこ病 灰色かび病 すず点病 黒星病 | 1000～ 1500倍 | 200～700ℓ | 収穫14日前 まで | 本剤 3回 イミノクタジン剤 3回 | 散布 |
| かき | 果実軟腐病 灰色かび病 貯蔵病害 (灰色かび病) | 1000倍 | | 収穫前日 まで | 本剤 5回 イミノクタジン剤 5回 | |
| キウイフルーツ | | | | | | |

(つづく)

| 作物名 | 適用病害名 | 希釈倍数 | 10a当たり 使用液量 | 使用時期 | 総使用回数* | 使用方法 |
|----------------------|---|----------------|----------------|--------------|----------------------|-------------|
| 小粒核果類 (うめ、すももを除く) | 黒星病 灰星病 灰色かび病 環紋葉枯病 すす斑病 | 2000倍 | 200~700ℓ | 収穫3日前 まで | 本剤 3回 イミノクタジン剤 3回 | 散布 |
| う め | 黒星病 灰星病 灰色かび病 環紋葉枯病 すす斑病 枝枯病 | | | 収穫7日前 まで | | |
| び わ | 灰斑病 灰色かび病 | 1000倍 10倍 | 4ℓ | | | 無人航空機 散布 |
| す も も | 灰星病 | 1000~ 2000倍 | | 収穫3日前 まで | | |
| マ ネ ゴ 一 | 炭そ病 | 1000倍 | 200~700ℓ | 収穫14日前 まで | 本剤 2回 イミノクタジン剤 2回 | |
| あ け び (果実) | うどんこ病 | 3000倍 | | | | |
| す い か | 炭そ病 うどんこ病 つる枯病 菌核病 | 1000倍 | | 収穫前日 まで | 本剤 4回 イミノクタジン剤 4回 | |
| メ 口 ン | つる枯病 うどんこ病 | | | | 本剤 5回 イミノクタジン剤 5回 | |
| か ぼ ち ゃ | うどんこ病 | 1000~ 2000倍 | | 収穫7日前 まで | 本剤 4回 イミノクタジン剤 4回 | |
| ズ ッ キ 一 二 | | 2000倍 | | | | |
| き ゅ う り | うどんこ病 灰色かび病 炭そ病 | 2000~ 4000倍 | 100~300ℓ | 収穫前日 まで | 本剤 7回 イミノクタジン剤 7回 | |
| う り り (漬物用) | うどんこ病 つる枯病 炭そ病 | 2000~ 4000倍 | | 収穫3日前 まで | 本剤 5回 イミノクタジン剤 5回 | |
| な す | 灰色かび病 すすかび病 うどんこ病 | 3000倍 | | 収穫前日 まで | 本剤 3回 イミノクタジン剤 3回 | |
| アスパラガス | 茎枯病 斑点病 褐斑病 | 1000倍 | 100~500ℓ | 収穫7日前 まで | 本剤 5回 イミノクタジン剤 5回 | |
| ね ぎ | 葉枯病 さび病 黒斑病 | 2000倍 | | 収穫30日前 まで | 本剤 3回 イミノクタジン剤 3回 | |
| た ま ね ぎ | 灰色かび病 灰色腐敗病 小菌核病 | 1000倍 | 100~300ℓ | 収穫前日 まで | 本剤 5回 イミノクタジン剤 5回 | |
| に ん に く | 葉枯病 | 1000~ 1500倍 | | 収穫3日前 まで | 本剤 3回 イミノクタジン剤 3回 | |

(つづく)

| 作物名 | 適用病害名 | 希釈倍数 | 10a当たり 使用液量 | 使用時期 | 総使用回数* | 使用方法 | |
|--------------------------|----------------------------------|----------------|----------------|-----------------|---|------------|--|
| にんじん | 菌核病 | 1000倍 | 100～300ℓ | 収穫14日前 まで | 本剤 5回 イミノクタジン剤 5回 種子粉衣は1回、無人 航空機散布は2回 | 散布 種子粉衣 | |
| | 黒葉枯病 | 500～ 1000倍 | | | 本剤 1回 イミノクタジン剤 5回 種子粉衣は1回、無人 航空機散布は2回 | | |
| | | — | | は種前 | 乾燥種子 重量の0.5% | | |
| トマト | 葉かび病 灰色かび病 | 3000～ 6000倍 | 100～300ℓ | 収穫前日 まで | 本剤 3回 イミノクタジン剤 3回 | 散布 | |
| ミニトマト | | 6000倍 | | | 本剤 2回 イミノクタジン剤 2回 | | |
| レタス | 灰色かび病 菌核病 | 1000～ 2000倍 | | 収穫14日前 まで | 本剤 3回 イミノクタジン剤 3回 | | |
| キャベツ | 菌核病 | 1000倍 | | 育苗期 〔定植前〕 | 本剤 5回 イミノクタジン剤 10回 〔育苗期は5回、 本圃では5回〕 | | |
| いちご | 炭そ病 | | | | 本剤 5回 イミノクタジン剤 10回 〔育苗期は5回、 本圃では5回〕 | | |
| | うどんこ病 | 4000倍 | | 収穫前日まで 〔生育期〕 | | | |
| 豆類 (種実、但し、 だいすを除く) | うどんこ病 炭そ病 褐斑病 | 1000倍 | 100～300ℓ | 収穫7日前 まで | 本剤 3回 イミノクタジン剤 3回 | 散布 | |
| ばれいしょ | 夏疫病 | 500倍 | | | 本剤 5回 イミノクタジン剤 5回 | | |
| やまのいも | 葉渋病 | 1000～ 2000倍 | | | 本剤 5回 イミノクタジン剤 5回 〔種いもへの処理は1回、 無人航空機散布は3回〕 | | |
| | 青かび病 | — | | 植付前 | 本剤 1回 イミノクタジン剤 5回 〔種いもへの処理は1回、 無人航空機散布は3回〕 | 種いも 粉衣 | |
| 茶 | 炭そ病 輪斑病 新梢枯死症 (輪斑病菌による) | 1000倍 | 200～400ℓ | 摘採7日前 まで | 本剤 2回 イミノクタジン剤 2回 | 散布 | |
| たばこ | 赤星病 うどんこ病 灰色かび病 | 1000～ 2000倍 | 100～180ℓ | 収穫10日前 まで | | | |
| 樹木類 | 炭そ病 | 1000倍 | 200～700ℓ | 発病初期 | 本剤 3回 イミノクタジン剤 3回 | | |

使用にあたって

■使用上の注意

- 使用量に合わせ薬液を調製し、速やかに使いきってください。
- 本剤はイミノクタジンを含む農薬であるので、他のイミノクタジンを含む農薬の使用回数と合わせ、作物ごとの総使用回数の範囲内で使用してください。
- 散布量は、対象作物の生育段階、栽培形態および散布方法に合わせて調節してください。
- 無人航空機散布に関する注意については「製品情報と注意事項」の見方、「空中散布、無人航空機(無人ヘリコプター等)散布・滴下に関する注意」をご参照ください。

- 本剤の使用に当っては、使用量、使用時期、使用方法などを誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。
- 適用作物群に属する作物またはその新品種に本剤を初めて使用する場合には、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましいです。

■薬害

- りんごに使用する場合、芽出し2週間すぎから落花後25日頃まではさび果を生じるおそれがあるので、この時期の散布はさせてください。
- なしに使用する場合、西洋なし品種ルレクチエではさび果を生じるので使用しないでください。
- ももに使用する場合、缶桃14号等の缶詰用品種では葉に葉斑を生じるので使用しないでください。
- おうとうに使用する場合は、着色始期から中期の散布では薬害（着色障害）を生じるおそれがあるので使用しないでください。
- かきに使用する場合、西村早生では葉に葉斑を生じるので、使用しないでください。
- メロンに使用する場合、交配2～3日前から交配2週間後までの幼果の時期には、薬害を生じるおそれがあるので、この時期の散布はさせてください。また、若葉への散布や高温時の散布では、薬害を生じることがあるので注意してください。
- キャベツに使用する場合、浸透性を高める効果のある一部の展着剤を混用すると薬害を生じる場合があるので、展着剤混用に当っては事前にその適否を確認してください。
- ばらに対して薬害を生じるので、からないように注意して散布してください。

■蚕毒



- 蚕に対して毒性があるので、桑にからないように注意して散布してください。

■水産動植物への注意

- 水産動植物（藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用してください。
- 無人航空機による散布で使用する場合は、飛散しないよう特に注意してください。
- 使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきってください。散布器具および容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

■安全使用上の注意

- 誤飲、誤食などのないように注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当てを受けさせてください。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当てを受けてください。
- 本剤は眼に対して強い刺激性があるので、眼に入らないように注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当てを受けてください。

-    ●使用の際は保護メガネ、農薬用マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用してください。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをしてください。
- 街路、公園等で使用する場合は、散布中および散布後（少なくとも散布当日）に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立て札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払ってください。

■貯蔵上の注意

- 密封し、直射日光を避け、食品と区別して、なるべく低温で乾燥した場所に保管してください。